

会報 ささえあい



06.9.4

ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟

発行所 生協本部事務局 〒951-8065 新潟市東掘通 2-481 丸山ビル3F

TEL: 025-225-9425 FAX: 025-224-8825 メール: sasaeai@cpost.plala.or.jp

重度障害児・者施設
千草の舎



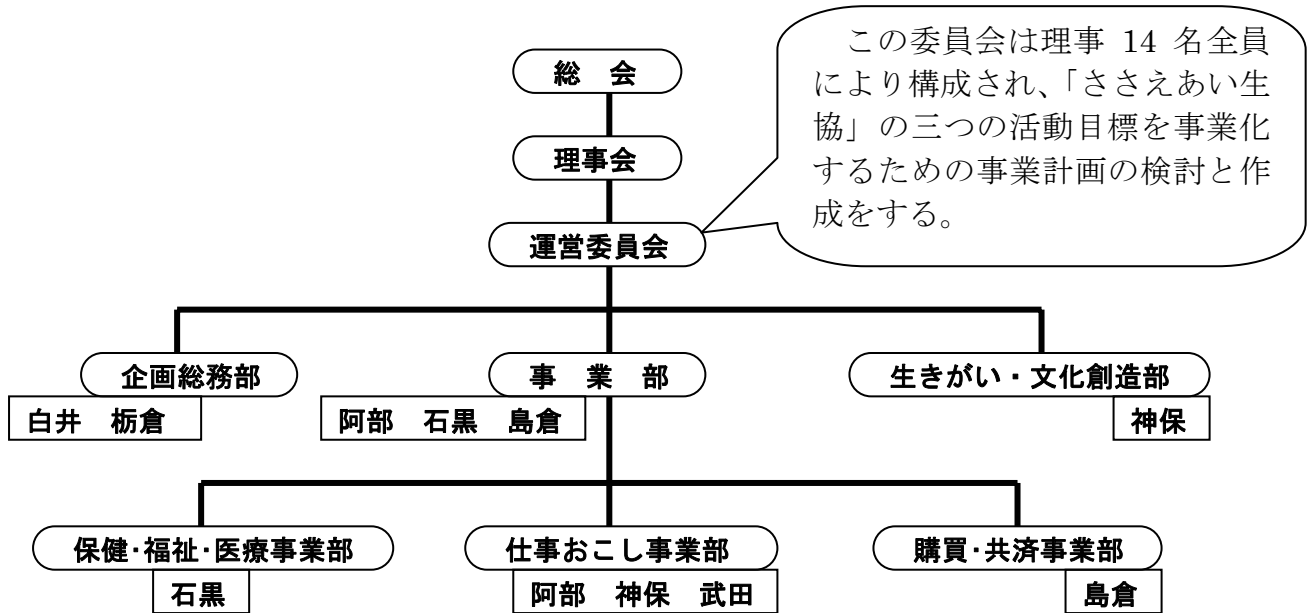
ゆあほ一むの庭

今は、一步一步あしがためのとき!

5月の総会で新たに役員が決まってから早くも3ヶ月が経とうとしています。すぐに総会の報告をすべく会報を出すところでしたが、発行がのびのびになってしまいました。この会報の発行が遅れたこととお詫びします。その間、あわやま事業所は、小規模多機能福祉事業所として認可され、「ゆあほ一む」も開設してから来月で1年になろうとしています。また、組織体制も徐々に固まりつつありますので、そのことを本号でお知らせしたいと思います。いろいろとやりたい事業のアイデアは沢山ありますが、まずは今立ち上げている事業をしっかりとしたものになりたいと思っています。どんな考えでどんなことを事業としてやろうとしているのか、もう一度ここで皆さんにご理解して頂きたいと思います。皆さんの積極的な参加が事業を支えます。

組織体制

理事会の下に新たに運営委員会（常務理事会）を設けました。そしてその下に、企画総務部、事業部、生きがい・文化創造部の3部門を置き、それぞれに責任担当理事を決めました。またその事業部では、さらに①保健・福祉・医療、②仕事おこし、③購買・共済の3事業部に分け、それぞれに責任担当理事を配置しました。



三つの事業展開

福祉事業

子供、高齢者、障害者の区別なく一緒に過ごせるデイサービスを目指します。

「寝たきりにならない、しない」「元気な高齢者づくり」のための重要な取り組みです。

空き家、空き部屋を活用し、立ち上げコストをかけないで小規模ながら地域福祉のコンビニ的拠点をつくっていきます。当事者と地域が参加する事業所として5年間で3~5ヶ所の設立を目指します。

ご近所の来てもらって、通って、泊って、住む居場所

小規模多機能型介護

介護保険外
デイサービス

仕事おこし事業

実際のところ、老後の生活も金次第というところもなくはない。少ない年金の足しになればと働く必要もある。でも、本当は、元気でいるために、自分の能力をさびつかせないために、仕事は大事。生涯現役の場を確保。

仕事おこし
現役の維持



あんしん営繕「まごの手」

ブロック工事、外壁張替え、庭木手入れ、庭木の冬囲い、バリアフリー工事、障子張替え、雨樋工事、舗装工事、室内クリーニング、等々

さわやか生活クラブ

インテリア



安心クラブ（ライフサポート事業）

会 員 制



声かけ、安否確認、外出支援、買物代行、電球・電池の交換、冷暖房機器の入替え、等々



ささえあい人材バンク

購買事業部

衣料・介護用品販売
新潟物産通販



！！営繕まごの手の事務所が移転しました！！

新しい住所：新潟市上近江3丁目36-34（いきいき広場と同住所）

TEL 025-283-4982

生きがい事業

地域福祉になじむ

今は、元気にやっている。しかし、何かの時には不安を持っている。そんな時に、安心して頼めるところとして「ささえあい生協」に今から関わりを持ち、仲間をつくりながら生協活動や福祉になじんでおきたい。

電話相談

出会い
知り合い
情報交換

組合員相互の親睦と健康づくりのためのいろいろなイベントをします。

悩みを抱えた高齢者や生き生きと活動したい高齢者およびグループを支援する人を育てます。

シルバーフレンド養成講座

地域の
しゃべり場・茶の間

ご利用も勿論ですが、自分にはこれができるという方の参加もお待ちしています。



ささえ愛あわやま 介護はやっぱり小規模多機能

昨年7月からの任意事業を経て、4月1日から新たに介護保険指定事業所としてスタートしました。はじめは車イスで通ってきた人たちが一ヶ月もたたないうちに、杖を忘れるほどしっかりと歩けるようになり、尿意も無く床が水浸しになるくらい失禁していた人が、自分でトイレに行くようになって、調理や掃除を進んでやってくれるようになる等、みな生き生きと個性的になっています。ごく普通の民家で、まるで家族のように思いやりを持

って、利用者と共に生活しているように介護しています。

職員は、利用者のすばらしい変貌を目の当たりに見ることが仕事の喜びにつながっている毎日です。

家族と一緒に暮らしたい。でも迷惑はかけたくないという利用者の気持ちを大切に、家族と共に介護していきたいと頑張っています。ささえあい愛あわやまをこれからも励まし。支え続けて下さいますようお願いいたします。

千草の舎の抱負

千草の舎の利用者様は只今8名、この8名の皆様、24時間健康で平和に過ごして頂くことが「千種の舎」の趣旨である。このような日々を継続していくためには、やはり安定した経営の遂行であると考えている。福祉面での補助金等も年々引き下げられている昨今であるが、「千種の舎」の今の生活を継続していくためにも、今後は「障害者自立支援法案」に基づく「どこか」の位置づけが必要であり、それに向かい勉強中である。また、利用者様の日常において、地域住民との関わりも大切である。お天気のよい日などは「脚を鍛えましょう」「外の空気を……」

と近所を散策する。散歩中時々地域の方とお会いする。「こんにちは」「お天気で散歩ができていいですね」「元気かねー」等々、会話が弾む。そのような小さなことが利用者様には喜びにつながっている。これを大切にしなければならぬと考える。そのような小さなことが積み重なり、地域との親しみが広がることで、ぽつんとある「千種の舎」ではない、町の中の「千種の舎」になっていくように願っている。そこにお互いに助け合う(と言っても助けってもらうのはほとんど千種の舎であるが) ささえあい生協の精神にもつながるのではないかと思う。

『清々し 草木も潤う 梅雨の庭』(「ゆあほ一む」命名者の詠める)

「ゆあほ一む」の庭は、毎日曜日5名の利用者を迎えます。昨年9月にオープンしてから、延べ200名を超える方に利用されてきました。その運営を支えるスタッフは延べ300名。なんと利用者を上回る！「利用者のみならずスタッフも笑顔」の秘密がここに 있습니다。

朝10時に皆さんを迎えて、ゆっくり「語らいの時間」。利用者同士、またはスタッフと心ゆくまでのんびり午前中を過ごします。その間に台所では、調理スタッフが吟味された食材を、「高齢者への心配り」をスパイスに、汗だくで料理します。

正午、ゆっくりわいわい、みんなで食べる昼食の美味しいこと。つい箸が進みます。

1時を回ると、今日のお楽しみ、「楽しい時間」が始まります。その日その日の「出し物」は、笑いの絶えない和やかなひと時を提供します。ボランティアによる一芸披露。ご近所グループのオカリナ演奏、

流して歩けないのに「流しのケイちゃん」のギターで歌う懐メロ・唱歌、はたまた優雅なヴァイオリン。心のもった絵手紙作りや、ミニ「盆栽」。ハワイの風を運ぶフラダンスや、ヒマラヤの麓の話など、楽しみも興味も尽きることはありません。

締めくくりは、「ゆあほ一む」名物の手作りケーキを食べながらの茶話会。一日一日が楽しい新たな思い出となる、「今を生きている」ことを実感できるのが「ゆあほ一む」です。スタッフも「本当に今日来て良かった！」と利用者のみなさんに感謝しながら、充実感をお土産に帰途につきます。これもその日その日の反省会、月に2度の運営会議といった地道な積み重ねがあればこそ。スタッフ同士、支えあってやってきました。

間もなく一周年。介護保険では対象外の「心の健康」をめざす「ゆあほ一む」のような場所が広がることを願っています。

【ささえ愛 ゆあほ一む】新潟市五十嵐中島1-18-54 電話 025-262-5389

開所 毎週日曜 10時から15時 利用料2千円(昼食付)



ささえあい生協まつりのご案内

日時： 11月19日(日) 受付開始 13:00 参加費：3000円
場所： メルパルク新潟(新潟市川岸町2-1-7 025-232-0101)